

毎日新聞世論調査

内閣支持 10ポイント減 36% 不支持 44%と逆転

毎日新聞 2017年6月19日

毎日新聞は17、18両日、全国世論調査を実施した。安倍内閣の支持率は36%で、5月の前回調査から10ポイント下落。不支持率は44%で同9ポイント上昇した。不支持率が支持率を上回ったのは2015年10月以来。学校法人「加計（かけ）学園」の問題や、「共謀罪」の構成要件を改めて「テロ等準備罪」を新設する改正組織犯罪処罰法への批判が影響したとみられる。（2面に関連記事と「質問と回答」）

安倍晋三首相の友人が理事長を務める加計学園が国家戦略特区を利用して獣医学部を新設する計画を巡っては、早期開学が「総理のご意向」と記述された文書が見つかり、文部科学省が再調査で存在を認めた。しかし、政府は計画に首相の意向が働いたことは否定している。

今回調査で、これまでの政府の説明に「納得していない」は74%を占めた。「納得している」は10%。内閣支持層も59%が「納得していない」と答えた。政府が獣医学部新設を認めた経緯について、国会の閉会中も衆参両院の予算委員会などで「検証すべきだ」は59%で、「検証する必要はない」の26%を上回った。

組織的な犯罪集団が犯罪を計画、準備した段階で処罰できるようにする改正組織犯罪処罰法は、一方で一般の人も捜査対象になる懸念が指摘されている。改正法に「反対」は47%、「賛成」は32%だった。

自民、公明両党は改正法を参院法務委員会で採決しない「中間報告」という方法で参院本会議にかけ、15日に可決、成立させた。改正法が「十分に審議されていない」は69%に上り、「十分に審議された」は12%にとどまった。改正法に賛成する層でも6割弱が審議不十分と考えている。

12年12月の第2次安倍内閣発足後、支持率が10ポイント以上、下がったのは初めて。【吉永康朗】

本社世論調査内閣支持急落 49%

加計説明「納得できぬ」75%

日本経済新聞 2017/6/19

日本経済新聞社とテレビ東京による16～18日の世論調査で、安倍内閣の支持率は49%となり、5月の前回調査から7ポイント下がった。40%台に落ちるのは2016年3月調査以来。不支持率は6ポイント上昇して42%で、15年10月以来の水準だった。学校法人「加計学園」の獣医学部新設計画を巡る問題や、「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法の国会運営などが影響したとみられる。（関連記事総合・政治面に）

高支持率を保ってきた安倍内閣は、安全保障関連法を巡り世論の賛否が割れた15年秋

以来の厳しい局面を迎えた。

加計学園の獣医学部新設計画を巡っては、政府は適切に手続きが行われたと説明する一方、文部科学省の追加調査で「総理のご意向」などと書かれた文書が見つかった。これまでの政府の説明に納得できるか聞いたところ、「納得できる」は11%にとどまり、「納得できない」は75%に達した。

内閣支持率は60%だった前々回の4月調査と比べると11ポイント下がった。2カ月間の下げ幅としては安保法を国会で審議していた15年5～7月以来（12ポイント）の大きさとなった。不支持率も、安保法成立から1カ月後の水準（42%）に並んだ。

内閣支持率を男女別に見ると、男性は51%と前回より9ポイント低下。女性も3ポイント下がって46%だった。特定の支持政党を持たない無党派層のうち、安倍内閣を支持すると答えた人は5ポイント低下して24%だった。

年齢別の内閣支持率は、50代と70歳以上で内閣不支持が内閣支持を上回り、逆転した。50代は支持率が14ポイント低下の43%、不支持率が14ポイント上昇の52%。70歳以上は支持率が9ポイント低下の40%、不支持率が6ポイント上昇の47%だった。

内閣不支持の理由は「政府や党の運営の仕方が悪い」がトップで42%。同じ質問をした3月の調査から8ポイント上昇した。「自民党中心の内閣だから」42%、「人柄が信頼できない」37%と続いた。内閣の支持理由は「安定感がある」が40%で最も多かった。

政党支持率は自民党40%と最も高いが、前回から4ポイント下がった。民進党は8%と横ばい。無党派層は1ポイント増の32%だった。

犯罪を計画段階で処罰する「共謀罪」の構成要件を改め「テロ等準備罪」を新設する改正組織犯罪処罰法の成立に「賛成」は47%で、「反対」は36%だった。成立では委員会採決を省く異例の「中間報告」方式を採った。

調査は日経リサーチが6月16～18日に全国の18歳以上の男女に携帯電話も含めて乱数番号（RDD方式）による電話で実施。1020件の回答を得た。回答率は46.2%。

内閣支持10ポイント急落44% 共同通信世論調査

共同通信 2017年6月18日

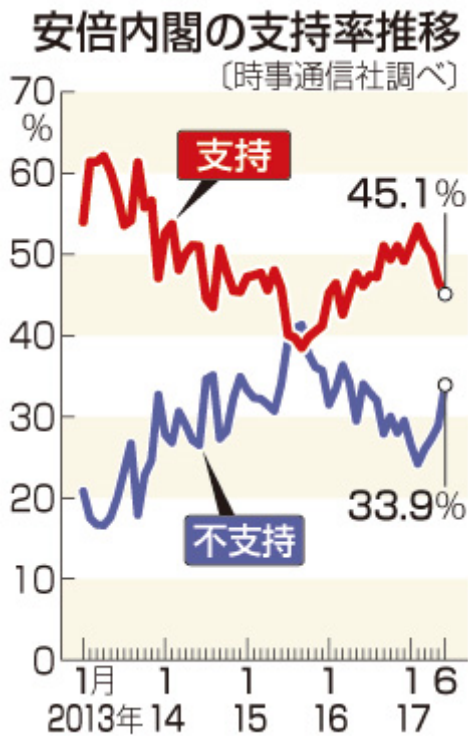
共同通信社が17、18両日に実施した全国電話世論調査によると、安倍内閣の支持率は44.9%で、前回5月から10.5ポイント急落した。安倍晋三首相の友人が理事長を務める学校法人「加計学園」の獣医学部新設計画を巡り、行政がゆがめられたことはないとする政府側の説明に「納得できない」としたのは73.8%で、「納得できる」は18.8%だった。

1%にとどまった。加計学園を巡る記録文書についての政府の調査で真相が「明らかになったと思う」は9・3%、「思わない」は84・9%だった。

「共謀罪」の採決で、与党がとった異例の手続きについては、67・7%が「よくなかった」と批判した。

(共同)

内閣支持、4カ月連続減＝不支持3割超一時事世論調査



時事通信が9～12日に実施した6月の世論調査で、安倍内閣の支持率は前月比1・5ポイント減の45・1%で、4カ月連続の減少となった。不支持率は同5・0ポイント増の33・9%で、3割台に乗ったのは昨年10月以来8カ月ぶり。学校法人「加計学園」（岡山市）の獣医学部新設をめぐる、当初存在を否定していた文部科学省の内部文書について再調査に追い込まれるなど、政府対応への批判が背景にあるとみられる。

政府が国連平和維持活動（PKO）に今後も積極的に部隊を派遣すべきか否かを尋ねたところ、「できれば派遣すべきでない」が48・6%で、「積極的に派遣すべきだ」34・3%を上回った。

内閣を支持する理由（複数回答）は、「他に適当な人がいない」18・8%、「リーダーシップがある」14・2%、「首相を信頼する」11・4%。支持しない理由（同）は、「首相を信頼できない」が急増し、前月比6・2ポイント増の18・8%。安全保障関連法審議の影響で内閣支持率が4割前後に低迷した2015年夏ごろと同水準となった。次いで「期待が持てない」14・5%、「政策が駄目」11・1%の順。（2017/06/16-16:25）